

至らざりしを以て、昭和二年六月十六日土地各筆清算に關する件を提出するに當り之を撤回し、同三年九月二十七日清算案を審議決定せり。

本地區整理後の土地評價には、整理前と同じく特別率及甲率の兩率を適用したり、即ち京橋より日本橋に至る電車通、幹線第七號及幹線第十七號を特別率とし、其の他は凡て甲率としたり、路線價並河川價指數は土地の整理狀況に依り二百二十五個乃至千七十五個と評定せり、即ち京橋より日本橋に至る電車通中從前千個と評定したる個所を最高千七十五個、中橋和泉町、大鋸町、南橫町、鈴木町及具足町内の三米新設路線を最低二百二十五個としたり。

路線價並河川價指數に基き算出したる土地各筆平均坪當指數の最高は千三百十六個、南傳馬町三丁目十六番にして、最低は二百五十四個、南橫町四番なり。

宅地全筆の總指數は二千四百五十四萬八千五百二十一個にして、之を宅地總面積五萬二千二百九十八坪六合五勺にて除したる平均坪當指數は四百六十八個なり。

借地權利價割合は從前と同じく市有河岸地を五割五分、一般宅地を五割と定めたり。
 以上記述せる整理前後に於ける最高最低の路線價指數、坪當指數及宅地總平均坪當指數を表示すれば左の如し。

整理前後路線價各筆坪當宅地總平均坪當指數調

路線價	區分		整理前		整理後	
	最高	最低	指數	價格	指數	價格
	1,000	1,250.00	1,075	1,942.10		

最高	最低
1,185	300
2,251.50	570.00
1,316	225
2,250.00	475.50

整理前後路線價各筆坪當宅地總平均坪當指數調

路線價	整理前		整理後	
	指數	價格	指數	價格
最高	1,000 <small>個</small>	1,200.00 <small>円</small>	1,075 <small>個</small>	1,942.10 <small>円</small>
最低				

宅地總平均坪當	各筆坪當		宅地總平均坪當
	最低	最高	
406	201	1,155	406
774	389	2,255	774
892	211	570.00	892

備考 指數單價は一圓九十錢なり。

又整理前後に於ける所有權、借地權の評定權利指數を掲ぐれば左の如し。

整理前後所有權借地權評定權利指數調

區分	整理前		整理後	
	指數	價格	指數	價格
所有權	16,650,七七 <small>個</small>	3,640,000.30 <small>円</small>	16,988,五五 <small>個</small>	3,164,二五.五 <small>円</small>
借地權	七,六三一,九一	一四,五〇〇,六三〇.九〇	七,六〇〇,一六	一四,四七八,〇三〇.四〇
合計	二四,二六六,六八	四六,一四〇,六三〇.二〇	二四,五八八,五三	四六,六〇三,一八九.九〇

備考 一 整理前外書は潰地充當用買收地の指數及價格なり。

二 整理前の總指數潰地充當用買收地の指數を包含するものは二五,五九二,二四〇個なり。

第十七地區 甲 整地

第十七地區 甲 整地

尙整理前後に於ける土地權利價割合を表示すれば左の如し。
整理前後土地權利價割合調

一三二八

區	域	土地權利價割合		
		所有權	借地權	計
一 市有河岸地		五	五	一〇〇
一 一般宅地		五	五	一〇〇

第五章 換地處分

第一節 換地處分案の決定

土地各筆清算に關する件は昭和二年六月十六日土地區劃整理委員會に附議し、換地處分に關する件及補償金の配當に關する件は同三年六月十四日同委員會に附議し、何れも同年九月二十七日原案の通可決したるを以て、同年十月三日内務省告示第二百六十一號を以て換地處分を爲したる旨、並土地補償金受領権利者は十月三日より同月七日迄に復興局第一出張所に申告を爲すべき旨を告示したり、而して本地區に於て換地處分を爲したる土地は所有地整理前五百六十七筆、整理後四百六十三筆、借地整理前千五百一件、整理後千四百五十四件なり、土地權利者は所有權者整理前後共二百九十二人、借地權者整理前後共千七十五人なり。

土地各筆清算に際しては、整理前清算土地評定權利指數二千四百二十八萬六千六百四十八個を以て、換地の評定權利指數二千四百五十四萬八千五百二十一個を除したる比率一〇一〇七八二五を、整理前の各筆權利指數に乗じて整理前の比例權利指數を算出せり。
換地處分の結果左の如し。

一 清算を爲したるもの

換地説明書別	從前の土地		換地		計算上の清算	清算	
	所有地	借地	所有地	借地		徴収	交付
甲	五八〇二六六坪	四九九〇四八坪	五二二六五八坪	四二六一七七坪	九八五、九三八五円	七〇〇、九三〇〇円	六六九〇四八九円
	一七、八四五、一五六	三三、九〇五、七九六	一七、〇九二、〇五	三三、〇二七、七九五	七二〇、八七〇、七〇	二五三、一六四、七〇	
乙	—	三九、二〇三	—	三七、二六〇、八七	二、四八、八二、五〇	—	三三、八九二、八〇
	—	一、二七三、六三三、五〇	—	一、二、六四、五〇、四〇	三、八六六、九五六	—	三、四四七、七五九
計	五八〇二六六坪	四九九〇四八坪	五二二六五八坪	四二六一七七坪	一、三〇七、五二〇〇	一、〇七五、六六三	一、〇三三、四四八
	—	四、六六三、二八九	—	四、六六三、二八九	一、〇七五、六六三	二、五三、一六四、七〇	一、〇三三、四四八

備考 一 換地説明書別欄、甲は所有権と所有権者にして借地権を有するもの、借地権との清算を、

乙は借地権のみの清算を掲ぐ。

二 從前の所有地面積は臺帳面積に據り、借地面積は申告面積なり。

三 甲借地面積は乙より移記したるものにして、乙借地面積は甲に移記したるものを除きたる面積なり。

二 特別處分を爲したるもの

一 換地を交付し清算を行はざりしもの

二 従前の所有地面積は臺帳面積に據り、借地面積は申告面積なり。
 三 甲借地面積は乙より移記したるものにして、乙借地面積は甲に移記したるものを除きたる面積なり。

二 特別處分を爲したるもの

一 換地を交付し清算を行はざりしもの

所有者	従前の土地			換地			摘要
	區町丁目	地番	面積	區町丁目	地番	面積	
内務省	京橋區 北紺屋町	二二地先	二七・八六 ^坪	京橋區 南傳馬町三丁目	九ノ二	三・八二 ^坪	材料置場
同	同	埋立地面	三・九四	同	一九宅地	三・九四	
同	同	同	二九・八九	同	一七同	二九・八九	
計			二七・八三			二七・八三	
合計			三二・六九			三二・六九	

二 換地を交付せず且清算金を交付せざりしもの

所有者	區町丁目	地番	地目	面積	摘要
京橋區	同	七ノ一	外九筆	二九・八九 ^坪	道路敷
同	同	七ノ一	外四筆	一七・八四	同
同	同	同	同	二九・八九 ^坪	道路敷
同	同	同	同	一七・八四	同
計				二七・八三	
合計				三二・六九	

第十七地區 甲 整地

第十七地區 甲 整地

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
南鍛冶町	南大工町	桶町	南横町	北横町	同三丁目	同二丁目	南傳馬町一丁目	同五郎兵衛町	同本材木町三丁目	同具足町	同柳町	同常盤町
三二ノ一 外一筆	一二	三四	二一	二一	三ノ二 外一六筆	九ノ三 外八筆	一〇ノ二 外八筆	一〇ノ二 外一六筆	二五ノ二 外一筆	一ノ二 外七筆	一ノ二 外四筆	三 外九筆
同	同	同	同	河岸地	同	同	同	同	同	同	同	道 路
一八・七 同	八・七 同	二四・六 同	三三・六 同	二五・七 同	一〇・三 同	三七・六 同	四四・一 同	六三・九 同	一七・九 同	二四・四 同	三三・四 同	三三・六 同

第十七地區 甲 整 他

同	同	同	同	同	同	同	同	東京府	
同	松川町	大鋸町	同	同	中橋和泉町	同	因幡町	同	計
一二	四	一二〇	一ノ五	一ノ四	一ノ一	一〇	一ノ一	四 外一筆	二八 二四
同	同	同	同	同	同	同	同	道	同
						内務省用地	宅地	路	
一二五・五	九三・三	一〇五・六	四・九	五・四	三六・四	一五・八	三七・三	一九二・〇	四、九四・九
同	同	同	同	同	同	同	潰地充當用買收地	道路敷	一八二・七 八一・七

同	同	同
南鍛冶町	南大工町	桶町
三二ノ一 外一筆	一二	三四
同	同	同
三四・五	八五・四	二四・七
同	同	同

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
北	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
紺	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
屋	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
町	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

二 處分制限の指定を爲したるもの假處分二件、假差押一件、差押一件、競賣申立三件、豫告登記二件、合計九件あり。

三 未登記の所有權以外の權利の指定を爲したるもの賃借權九百四十三件あり。

備考 右の外係争中の賃借權七十九件、借地法第六條該當地二十九件、同法第九條該當地二十九件あり。

第二節 清算金

第一 土地補償金を以て清算金に充當

本地區に於ける換地處分は、昭和三年十月三日内務大臣の認可あり、而して清算金徵收額は百一萬三千八百二十四圓八十錢にして、人員六百六十二人なり、又土地補償金は同月九日補償審査會に於て、八十四萬八千三百二十一圓五十錢、人員千三百六十七人と決定せられたるに依り、左記の通補償金を以て徵收清算金に充當處分を爲したり。

徵收清算金總額		補償金總額		補償金充當額		充當後徵收清算金		充當後交付補償金	
金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員
一、一三、八四・八〇 ^円	六六二	八四八、三二・五〇 ^円	一、三六七	二九〇、〇二・二〇 ^円	六六一	七三、八二・六〇 ^円	四元	五八、三九・三〇 ^円	六二

第二 換地處分に關する通知

換地處分に關する通知書は、豫め換地説明書及補償金清算金臺帳に依り之を作成し置き、前項充當處

分を爲したる後全部普通郵便を以て之を送達せり。

第三 清算金の徵收

本地區に於ける徵收清算金總額は百一萬三千八百二十四圓八十錢なりしが、内二十九萬十二圓二十錢

第二 換地處分に關する通知

換地處分に關する通知書は、豫め換地説明書及補償金清算金臺帳に依り之を作成し置き、前項充當處

金	額	人員	金	額	人員	金	額	人員	金	額	人員
一、二三、八四・八〇	六六二	八四八、三二・五〇	一、三三七	二九〇、〇二・二〇	六六一	七三三、八二・六〇	四元	五五八、三九・三〇	六二		

分を爲したる後全部普通郵便を以て之を送達せり。

第三 清算金の徴收

本地區に於ける徴收清算金總額は百一萬三千八百二十四圓八十錢なりしが、内二十九萬十二圓二十錢に對し土地補償金を以て充當したる結果、各納付義務者より直接徴收すべき清算金は差引七十二萬三千八百十二圓六十錢人員四百二十九人なり。

本地區に於て清算金を徴收すべき人員四百二十九人中分納申請資格者即ち百圓以上納付すべきもの二百九十九人なるも、内官公署分一件を除き差引二百九十八人に對し分納申請期限を昭和三年十一月九日とし、換地處分に關する通知書と共に、分納申請書用紙を送付し置きたる處、右期限内に申請書を提出したるもの百五十八人にして資格者總數に對し五割三分なり。

依て右申請書全部を審査の上、昭和三年十二月二十六日分納許可の決定を爲し、同日各申請者に對し許可書を送付せり。

今分納清算金に付其の内譯を示せば左表の如し。

回数區分	元	金	利	子	計	人員	納期	限
一		六五、一四五・一〇		一八・六五	六五、一六三・七五	一五	昭和四、一、一五	
二		一七二、四三・二元		一八、七四六・四〇	一九〇、一七七・六九	一五	同	七、一五
三		四三、一三三・二六		一〇、〇四二・二二	五三、一七四・七	一四	同	五、一、一五
四		二四、九四三・九二		八、三六・九三	二五、三〇〇・八四	一三	同	七、一五
五		二四、六三九・二		七、三九・二七	二六、〇三六・四七	一六	同	六、一、一五
						一二三		七

第十七地區 甲 整 他

第十七地區 甲 整地

計	二	〇	九	八	七	六		
	四七、六三・一〇	二七、六八・八六	二七、六三・二七	二六、八六・八一	二五、八四・一〇	二五、三九・〇八	二四、九四・四二	
	六七、〇四・〇四	一、一七・五〇	二、二三・〇二	三、二七・九九	四、三二・八〇	五、三四・四四	六、三三・八三	
	五四、六四・一四	二八、八〇・三六	二九、八五・二九	三〇、一四・八〇	三〇、一六・九〇	三〇、六三・五三	三二、三八・二四	
	一	五	八	八	九	九	一〇	一二三
	同	同	同	同	同	同	同	三八
	九、一・二五	七、一・二五	八、一・二五	七、一・二五	七、一・二五	七、一・二五	七、一・二五	

本地區の清算金は、昭和四年一月より之が徴收を開始せり。

第四 清算金の交付

本地區に於ける交付清算金總額は、百一萬三千八百二十四圓八十錢(人員六百六十二人)にして、昭和三年十一月八日之が支拂を開始し、同四年四月二十八日迄に全部其の支拂を了したり。

第六章 土地補償金

第一 補償金の算定並決定

本地區に於ける宅地減歩率は、一割六分九厘二六六なりしを以て、特別都市計畫法第八條に依り補償金の交付を要する爲同法第五條の規定に依る補償金の配當割合を定むるに當り、幹線街路敷充當用として國に於て買收したる土地に對しては、該土地の指數相當額とし、其の他の土地に對しては、補償總指數より前記指數を控除したる指數を各整理前の權利指數に按分するものとし、之を土地區劃整理委員會に諮問して決定せり（第一章第二節及第五章第一節參照）

次で前記配當割合に基き左表其の一に依り計算したる補償總指數を、整理前各權利に配當して原案を作成の上補償審査會に提出し、昭和三年十月九日原案の通決定せられたり。

而して要交付補償金總額は金八十四萬八千三百二十一圓五十錢にして人員七百八十一人なり。

補償金計算調書

(其の二)

摘要	員數
整理前宅地總面積	六二、九五四坪八〇
整理後宅地總面積	五二、二九八坪六二
潰地總面積	一〇、六五六坪一五
整理前宅地總面積に對する潰地面積の割合	〇、一六九二六六六

第十七地區 甲 整地

第十七地區 甲 整理地

補償金總額	補償總指數	整理前宅地坪當價	指單價	同平均坪當指數	整理前宅地總指數	補償總面積	整理前宅地之一割に相當する面積
三、三六三、八二〇圓八〇	一、七七〇、四三二個	七七一圓四〇	一圓九〇	四〇六個	二五、五九二、二四〇個	四、三六〇坪六七	六、二九五坪四八
						一二四〇	

(其の二)

特別都市計畫法施行令第二十九條該當中指數相當額配當のもの	面積	整理前指數	補償指數	補償金額	差引整理前宅地總指數	差引補償總指數	補償金配當率(整理前指數千個當)
特別都市計畫法施行令第二十九條該當中指數相當額配當のもの	三、七八六坪四二	一、三〇五、五九二個	一、三〇五、五九二個	二、四八〇、六一四圓八〇	二四、二八六、六四八個	四六四、八四〇個	一九個一三九七三四

特別都市計畫法施行令

面積
整理前指數

五、〇四〇坪四〇
九五八、九七七個

相當額配當のもの	補償金	積	一三〇、五九二個
差引整理前宅地	補償金	積	二、四八〇、六一四圓八〇
差引補償	總指數	數	二四、二八六、六四八個
補償金配當率	總指數	數	四六四、八四〇個
(整理前指數千個當)			
一九個一三九七三四			

特別都市計畫法施行令	面積	五、〇四〇坪四〇
第二十九條該當中按分	整理前指數	九五八、九七七個
率に依り配當のもの	補償指數	一八、三五五個
	補償金額	三四、八七四圓五〇
差引要交付	補償金額	八四八、三二一圓五〇

備考

- 一 指數單價一圓九十錢は、昭和三年六月十九日補償審査會に於て決定せるものなり。
- 二 特別都市計畫法施行令第二十九條該當地の面積は、土地臺帳又は官廳の臺帳面積を掲せり。
- 三 補償金配當率は、前表差引整理前宅地總指數(二四、二八六、六四八個)を以て差引補償總指數(四六四、八四〇個)を除したるものなり。
- 四 各筆の補償金(各所有權及借地權に對する補償金)は、前號の配當率に依り補償指數を求め、之に指數單價を乗じて算出せるものなり。

第二 補償金國市負擔區分

本地區に於ける補償金國市負擔區分に關する計算は、左記調査表の如く、金額八十四萬八千三百二十一圓五十錢國に於て負擔するものなり。

第十七地區 甲 整地

國負擔	
計	四、三六〇・七
	三、三六三、八〇・八〇 ^円
	三、三六三、八〇・八〇
	一、一七四、四三三
	三、三六三、八〇・八〇
	四、八七四・五〇
	二、四八〇、六四・八〇 ^円
	二、四八〇、六四・八〇
	一、一〇四、五五二
	二、四八〇、六四・八〇
	二、五五、四九・三〇 ^円
	二、五五、四九・三〇
	一、三三、四七
	二、五五、四九・三〇
	八四八、三二・五〇
	四六、四八五
	八四八、三二・五〇

市負擔	
計	四、三六〇・七
	三、三六三、八〇・八〇
	一、一七四、四三三
	三、三六三、八〇・八〇
	四、八七四・五〇
	二、四八〇、六四・八〇
	二、四八〇、六四・八〇
	一、一〇四、五五二
	二、四八〇、六四・八〇
	二、五五、四九・三〇
	一、三三、四七
	二、五五、四九・三〇
	八四八、三二・五〇
	四六、四八五
	八四八、三二・五〇

第三 補償金の申告

補償金の交付を受けむとする者は、昭和三年十月八日迄に之に關する申告書を提出すべき旨、申告書用紙を添へ、権利者千三百六十七人に對し注意書を發したるに、全部期間内に申告を了したり。

第四 各権利者に直接交付すべき補償金

要交付補償金總額は、八十四萬八千三百二十一圓五十錢なりしが、内二十九萬十二圓二十錢を徵收清算金に充當したる結果、各権利者に直接交付すべき補償金は五十五萬八千三百九圓三十錢(人員七百八十一人)なり。

第五 補償金の交付

前記各権利者に直接交付すべき補償金五十五萬八千三百九圓三十錢は、昭和三年十一月八日之が支拂を開始し、同六年二月二十日迄に全部其の支拂を了したり。

第七章 登記及地價配賦

第一節 登記

第一 代位登記

土地に關し代位登記を爲したる件數は土地表示更正及變更百三十七件、土地名義人表示更正及變更十件、分合筆五十一件、土地所有權移轉八件、土地所有權保存四件なり。

第二 區劃整理登記

土地囑託筆數は整理前五百三十筆、整理後四百八筆にして、建物囑託件數は要登記のもの六百二十七件、現存を認め難きもの二千五百七十七件なり、囑託書を東京區裁判所に提出したるは昭和三年十一月十二日にして、登記の完了は同年十二月三十一日なり、而して登記の停止期間は換地處分告示の日即ち昭和三年十月三日より約二箇月に亘れり。

第二節 地價配賦

第一 地價配賦前の處理

本地區の土地區劃整理施行申告、工事著手届及工事完了届を京橋稅務署長に提出したる年月日左の如し。

- | | | |
|---|------------|------------|
| 一 | 土地區劃整理施行申告 | 昭和二年三月二十七日 |
| 一 | 工事著手届 | 同 日 |
| 一 | 工事完了届 | 同 三年十一月六日 |

第二 地價配賦

地價配賦案は昭和三年十一月六日京橋稅務署長に提出し、昭和三年十二月十二日地價配賦許可の指令を受けたり。

本地區區劃整理前有租地の地價額は百五十五萬四千五百七十七圓十六錢にして、整理に依り減少した

第二 地價配賦

- 本地區の土地區劃整理施行申告、工事著手届及工事完了届を京橋稅務署長に提出したる年月日左の如し。
- 一 土地區劃整理施行申告 昭和二年三月二十七日
 - 一 工事著手届 同 日
 - 一 工事完了届 同 三年十一月六日

地價配賦案は昭和三年十一月六日京橋稅務署長に提出し、昭和三年十二月十二日地價配賦許可の指令を受けたり。

本地區區劃整理前有租地の地價額は百五十五萬四千五百七十七圓十六錢にして、整理に依り減少したる有租地面積に對する控除地價は十七萬八千三百八十七圓九十二錢なり、之れを前述の地價總額百五十五萬四千五百七十七圓十六錢より控除したる百三十七萬六千八百八十九圓二十四錢は、即ち整理後有租地に對し配賦せらるべき地價額とす、而して整理後各筆評定指數千個當配當地價額は五十九圓三十九錢一〇〇九なり。

地價配賦算定に關する數字を示せば左の如し。

一 整理前後有租地面積

整理前面積	五、〇七六・三〇 ^坪	整理後面積	四八、七五六・〇元	差引減歩面積	六、三三〇・二一 ^坪
-------	-----------------------	-------	-----------	--------	-----------------------

二 整理前有租地坪當平均地價

整理前有租地面積	五、〇七六・三〇 ^坪	同上總地價	一、五五四、五七・一六 ^円	坪當平均地價	二八・三五 ^円
----------	-----------------------	-------	--------------------------	--------	--------------------

第十七地區 甲 整地

一二四六

三 控除せらるべき地價

有租地差引減歩面積	坪 六、三〇・二二	坪當平均地價	坪 二八・三五	控除地價	坪 一七、三六・九三
-----------	--------------	--------	------------	------	---------------

四 整理後評定指數千個當配賦地價額

整理後有租地總指數	個 二三、七二・六六	配賦地價額	個 一、三六、一九・四	指數千個當配賦地價額	個 五九・元一〇〇九
-----------	---------------	-------	----------------	------------	---------------

次に整理前後の土地を有租地、免租地及公共用地の區分に従ひ地目別に掲記すれば左の如し。
整理前後土地面積及筆數調

區分地目	有租地	區有免租地	從前の土地		整理後の土地		面積差引		筆數差引	
			臺帳面積	筆數	實測面積	筆數	増減	増減	増減	増減
河岸地	宅地	公立學校敷	五、八七・九四 ^坪	四〇八	四八、七六・〇九 ^坪	四四	坪	五、二五・八五 ^坪	六	一
			六五三・二七	三	六五〇・三六	一	坪	二・八二	一	一
			四、九二・二四	一四	三、三六・八二	二七	坪	一、五四・四三	一三	一

市有免租地	道	計	路	三、七五・八四	九二	八、六三・〇八	一〇六	三、三六・八二	一七	一	一	三、七五・八四	一	三	九三
-------	---	---	---	---------	----	---------	-----	---------	----	---	---	---------	---	---	----

第十七地區 甲 整地

合 計	公共用地			國有免租地			府有免租地	市有免租地	
	溝渠	河川運河	道路	計	遞信省用地	河岸地	道 路	道 路	道 路
九六、八五、七五	二九、五七、九〇	四、八九、四九	二四、四六、三〇	三、八七、二六	三、六九、二五	一七、八六	一九二、四〇	八、六三、〇八	三、七五、八四
五二				三	元	二	二	一〇六	九二
九六、二七、〇一	四三、三三、九二	七、三五、〇〇	三六、〇四、六二	九、八二	六六、〇〇	三二、八二		三、三六、八二	
四四				二		一		七	
一六、三三、三三	一六、二五、三三	二、四八、八八	一三、七九、三三						
二四、八三、八七	四三、〇、二二	四三、〇、二二		三、七八、八四	三、六九、二五	八五、〇四	一九二、四〇	五、二八、二六	三、七五、八四
一九								三	
二二六				三〇	元	一	二	九三	九

區有免租地	有租地
河岸地	宅地
四、九一、二四	五、八七、九四 ^坪
一四	四〇八
三、三六、八二	四八、七五、〇九 ^坪
二七	四四
	^坪
一、五四、四二	五、二五、八五 ^坪
一五	六

乙 建物其の他の工作物移轉

第一章 整理前の建物

本地區整理前の宅地總面積は、六萬二千九百五十四坪八合にして、之に所在する建物の總棟數は二千四百四十三棟此の延坪數五萬三千七百四十六坪なり、而して建物一棟當り宅地面積は二十五坪七合七勺、同建物延坪數は二十二坪なり。

前記總棟數の内移轉を要するもの二千四百四棟にして、爾餘の三十九棟は換地の關係に依り其の儘据置き得る不要移轉建物なり(總棟數は昭和二年十二月調復興局移轉料調書に依りたり)

第二章 移轉經過

第一節 移轉命令

本地區の換地面積決定案は、大正十四年十二月十三日土地區劃整理委員會に諮問せられたるも、長期に亘り同會の答申を見ざるを以て之に先だち移轉計畫を開始せり、即ち右諮問案に基き移轉群割を爲し急を要する移轉群より建物及工作物の現狀調査に著手し、調査済の移轉群より逐次移轉工法並工程を定めたり、而して換地面積に關しては大正十五年五月十六日原案執行せられたるに付、第一次移轉命令として同月十七日桶町に所在する建物三十三棟に對し命令二十八通、同通知二十六通を發し、爾來引續き發令に努め昭和二年一月二十七日南嶺町の發令を最後とし、要移轉建物二千四百四棟の内二千三百六十四棟及工作物に對し移轉命令千七百九十五通、同通知二千百三十四通を發し爾餘の四十棟に對しては協議其の他の方法に依りたり。

第二節 損害補償

移轉命令の發令に次で建物及工作物の新築費並動産の種類、數量及營業休止に因る損害等の現地調査

めたり、而して換地面積に關しては大正十五年五月十六日原案執行せられたるに付、第一次移轉命令として同月十七日桶町に所在する建物三十三棟に對し命令二十八通、同通知二十六通を發し、爾來引續き發令に努め昭和二年一月二十七日南嶺町の發令を最後とし、要移轉建物二千四百四棟の内二千三百六十四棟及工作物に對し移轉命令千七百九十五通、同通知二千三百三十四通を發し爾餘の四十棟に對しては協議其の他の方法に依りたり。

第二節 損害補償

移轉命令の發令に次で建物及工作物の新築費並動産の種類、數量及營業休止に因る損害等の現地調査に著手、其の調査に基き移轉損害補償金の算定を爲し、大正十五年八月六日以降順次之を補償審査會に提案し、審議決定を重ねること前後四十回(變更案の決定を含む)にして、昭和二年七月十六日一先終了したるが、其の後に至り既決補償金の變更を要するものあり之が審議決定を爲すこと十二回に及び翌三年十月十六日に至り全部の決定を了せり、尙補償審査會の決定を要せざるものに就ては調査算定すると共に關係者と協定する等夫々處理を了したり。

補償審査會に於て決定したる補償金及其他の移轉料總額は二百六十九萬四千八十七圓五十四錢にして、内國負擔額二百五十四萬三千七百七圓二錢、市負擔額十五萬三百八十圓五十二錢なり。

前記の補償金並移轉料は昭和六年三月末日迄に其の大部分の支拂を爲し、殘額九百八十五圓十六錢の内國負擔に係る九百三十五圓九十四錢は東京供託局に供託し、市負擔に係る四十九圓二十二錢は支拂未済なり。

尙補償審査會に於て決定したる補償金の内譯を示せば左の如し。

棟 數	建 物	延 坪 數	補 償 金	區 分		額	坪	譯 當
				內	金			
二、二五〇		四九、三五・三四	二、五五、五〇・〇二	建物移轉料	一、五七、六二・八四			三・三七
				工作物移轉料	二四八、六六・二四			五・〇四
				造作移轉料	五七、三九・七七			一・二六
				動產移轉料	一七、七八・七〇			三・四八
				休業補償	三五八、三三・〇九			七・二六
				雜費	一六、八〇・六			三・二六
				計	二、五五、五〇・〇二			五三・五九

第三節 移轉實施

本地區の移轉工事は大正十五年九月之に著手し、同年中に二百二十六棟、昭和二年中に八百九十四棟、同三年中に千二百五十七棟、同四年に於ては五月迄に二十七棟の移轉を完了し、工事著手以來二年九月にして建物二千四百四棟及其他工作物の移轉完了を見るに至りたり、之を月別に示せば左の如し。

年	月	計	累計
一月			
二月			
三月			
四月			
五月			
六月			
七月			
八月			
九月			
十月			
十一月			
十二月			
		計	累計

第十七地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

年	月	大正十五年	昭和元年	昭和二年	同三年	同四年
	一月	一	三	二	八	
	二月	一	完	三	四	
	三月	一	完	六	六	
	四月	一	六	七	七	
	五月	一	三	二	二	
	六月	一	三	一	一	
	七月	一	三	一	一	
	八月	一	完	一	一	
	九月	三	七	一	一	
	十月	三	三	一	一	
	十一月	六	六	一	一	
	十二月	五	一	一	一	
	計	三六	八四	二七	二七	二七
	累計	三六	一、一〇	二、三七	二、四〇	二、四〇

丙 地下埋設物其他工作物整理

第一章 概 說

本地區に於ける地下埋設物其他工作物整理費中本市負擔額は一萬二千四百七十三圓九十三錢にして、之を工種別に見るときは一地區集計千五百七十五圓十三錢、應急整理一工事十圓六十七錢、假本整理四千二百八十七圓二十三錢、私有管線六千六百圓九十錢なり、更に之を事業者別に見るときは市水道局二千八百十八圓九十一錢、市電氣局二百六十九圓五十四錢、東京電燈株式會社六千八百三圓十三錢、東京瓦斯株式會社二千五百八十二圓三十五錢なり、其の事業者別及支拂狀況を示せば左の如し。

事業者別一覽

種 別	市 水 道 局	市 電 氣 局	東京電燈株式會社	東京瓦斯株式會社	計
一地區集計	四三〇・七	二六九・四	三五七・七	五七二・〇	一、五七五・一三
應急整理一工事	一〇・七	—	—	—	一〇・七
假本整理	—	—	三、七七・六	五九・七	四、二七・三
私有管線	二、三七・五	—	二、七七・四	一、四五・八	六、六〇・九〇
計	二、八八・九	二六九・四	六、八〇・三	二、五八二・三	一二、四七・九三

年度別工事費支拂進捗狀況

種 別	昭和二年	昭和三年	昭和四年	昭和五年	支拂未済	計
種 別	昭和二年	昭和三年	昭和四年	昭和五年	支拂未済	計

私有管線	二,三七・七	二,九七・五	二,七七・四五	一,四九五・八八	六,六〇・九〇
計	二,八八・九二	二,九七・四	六,八〇・一三	二,五八二・三五	一,二,四七・九三

年度別工事費支拂進捗状況

種別	昭和二年	昭和三年	昭和四年	昭和五年	支拂未済	計
一地區集計	三〇・〇八	四三・三	五三・九	三三・六	—	一,五七五・一三
應急整理一工事	—	—	一〇・六	—	—	一〇・六
假本整理	一,三六・八	—	二,四一・三	五九・七	—	四,二七・三
私有管線	二,九一・二	二,六八・五	八五・八	六・四	一四・九	六,六〇・九〇
計	四,四八・〇	三,一三・六	三,八六・八	一,〇一〇・三	一四・四	一,二,四七・九三
進捗歩合%	三五	二五	三	八	一	一〇〇

第十七地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

支拂状況

年 度	水 道	市 電	東 電	瓦 斯	計
昭 和 二 年	一五・九四	六七・二四	一七・三五	二五・二八	一〇〇・〇八
昭 和 三 年	—	—	—	二五・二八	四五・五三
昭 和 四 年	二七・七三	—	—	二五・二八	五五・九一
昭 和 五 年	—	二〇・二四	一八・〇七	〇・八四	三八三・六
計	四三・〇七	二九・四八	三三・七三	五二・四〇	一、五七五・二三

第二節 應急整理一工事

本地區に於ける應急整理一工事中本市負擔に屬する工事は、道路工事支障に依り水道工作物を整理せるもの一件にして、之が整理費は十圓六十七錢なり、而して支拂は昭和四年六月一日之を了せり。

第三節 假本整理

本地區に於ける假本整理工事中本市負擔に屬する工事は件數三件整理費四千二百八十七圓二十三錢にして、昭和三年四月二十七日より同五年六月十日迄に全部支拂を了せり、之を事業者別に見るときは東京電燈株式會社二件金額三千七百十七圓九十六錢、東京瓦斯株式會社一件金額五百六十九圓二十七錢なり、其の工種別並支拂狀況を示せば左の如し。

第十七地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

工事種別

種別	東電		瓦斯		計
	數量	金額	數量	金額	
交通支障 電柱 管線路	四本	二、四八・二三	四九〇間	五九・二七	二、四八・二三
其他 管線路 電柱	一九六間 四本	一、三六・八三	一九六間	三、〇〇・四〇	一、三六・八三
合計 管線路 電柱	一九六間 四本	一、三六・八三	四九〇間	五九・二七	一、八六・一〇
合計	二	三、七七・六六	一	五九・二七	四、二七・三三

支拂狀況

年度	東電		瓦斯		計
	件數	金額	件數	金額	
昭和二年	一	一、三六・八三	一	五九・二七	一、三六・八三
昭和四年	一	二、四八・二三	一	五九・二七	二、四八・二三
昭和五年	二	三、七七・六六	一	五九・二七	四、二七・三三
計	二	三、七七・六六	一	五九・二七	四、二七・三三

第三章 私有管線處理

本地區に於ける私有管線整理工事中本市負擔に屬する工事は件數三百十九件整理費六千六百圓九十錢

昭和二年	一	一、二六・八三							
昭和四年	一	二、四八・二三							
昭和五年	二	三、七七・六六							
計			五九・二七	一	一	一	三	四、二七・三三	

第三章 私有管線處理

本地區に於ける私有管線整理工事中本市負擔に屬する工事は件數三百十九件整理費六千六百圓九十錢にして、昭和二年八月二日水道關係工作物整理費の支拂を最初としそれより逐次支拂を爲せり、之を事業別に見るときは水道百十八件金額二千三百七十七圓五十七錢、東電百三十八件金額二千七百二十七圓四十五錢、瓦斯六十三件金額千四百九十五圓八十八錢なり、尙前記の内事業者に支拂ひたるもの三百十九件金額五千四百八十八圓十七錢、又個人に再設費を現金補償したるもの四十六件金額千百十二圓七十三錢なり、其の事業別一覽及支拂狀況を示せば左の如し。

事業別一覽

種別	水道		東電		瓦斯		計	
	件數	金額	件數	金額	件數	金額	件數	金額
事業者 現金補償 (個人拂) 再設費補償	二八	二、三五・五九	二八	一、七五・三三	六	一、四九・三五	三九	五、四八・二七
合 計	二八	二、三七・五九	二八	二、七三・四五	六	一、四九・八八	三九	六、二〇・九〇

備考 合計件數欄中には再設費補償件數を含まず。

第十七地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

支拂狀況

一二五八

年 度	事業者 拂		現金補償(個人拂)		計	歩合 %
	件 數	金 額	件 數	金 額		
昭 和 二 年	二六	二,一〇七・三 ^円	一四	七三三・九 ^円	二,九四一・二 ^円	四五
昭 和 三 年	一五〇	二,四七〇・六	一七	二〇七・七	二,六七八・五	四〇
昭 和 四 年	四〇	七四〇・七	九	一〇四・四	八四五・一	三三
昭 和 五 年	三	五三	二	二〇三	六七・三	一一
未 済	三九	五,四八八・七	四	一四・九四	六,〇〇〇・九〇	一〇〇
計						

第一 水道

本市負擔に屬する水道工作物整理費は二千三百七十七圓五十七錢にして昭和二年八月二日より支拂を開始しそれより逐次支拂を爲し、同六年二月十二日迄に全工事費の支拂を了せり、而して前記工事費中事業者に支拂ひたるもの百十八件金額二千三百五十九圓五十九錢、又個人に再設費を現金補償したるもの七件金額六十一圓九十八錢なり、其の支拂狀況を示せば左の如し。

年 度	事業者 拂		現金補償(個人拂)		計	歩合 %
	件 數	金 額	件 數	金 額		
昭 和 二 年	五	一,二五六・四 ^円	一	—	一,二五六・四 ^円	四九

昭 和 三 年	三	五二・七	二	六・七	五八・二六	三
昭 和 四 年	三	五二・七	二	六・七	五八・二六	三
昭 和 五 年	三	五二・七	二	六・七	五八・二六	三
未 済	三	五二・七	二	六・七	五八・二六	三
計						

昭 和 二 二 年	事業者拂		現金補償(個人拂)		計	歩 合 %
	件 數	金 額	件 數	金 額		
	五	一、二五・六 ^円	一	一 ^円	一、二五・六 ^円	〇

昭 和 三 年	事業者拂		現金補償(個人拂)		計	歩 合 %
	件 數	金 額	件 數	金 額		
昭 和 四 年	三	五二・七九	二	六・七	五八・二六	三
昭 和 五 年	三	五九・八五	一	五五・六	六四七・四六	二七
計	二八	二、三五・五九	七	六一・九	二、三七・七	一〇〇

第二電 氣

本市負擔に屬する東電工作物整理費は二千七百二十七圓四十五錢にして、昭和二年九月九日より支拂を開始しそれより逐次支拂を爲せり、而して前記工事費中事業者に支拂ひたるもの百三十八件金額千七百五十三圓二十三錢、又個人に再設費を現金補償したるもの三十件金額九百七十四圓二十二錢なり、其の支拂狀況を示せば左の如し。

年 度	事業者拂		現金補償(個人拂)		計	歩 合 %
	件 數	金 額	件 數	金 額		
昭 和 二 年	五	一、〇〇・六七 ^円	一〇	七五・六 ^円	一、七六・四五 ^円	五
昭 和 三 年	五	五〇・九〇	一三	一八・七五	七三・六五	二七
昭 和 四 年	一〇	一五・六	二	三三・五〇	一八五・一六	六
昭 和 五 年	一	一	二	一一・〇三	一一・〇三	一
未 済	一	一	三	一一・二六	一一・二六	一
計	二八	一、七五・三三	三〇	九七・四三	二、七七・四	一〇〇

第十七地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

第三 瓦 斯

本市負擔に屬する瓦斯工作物整理費は千四百九十五圓八十八錢にして、昭和二年七月二日より支拂を開始しそれより逐次支拂を爲せり、而して前記工事費中事業者に支拂ひたるもの六十三件金額千四百十九圓三十五錢、又個人に再設費を現金補償したるもの九件金額七十六圓五十三錢なり、其の支拂狀況を示せば左の如し。

年 度	事 業 者 拂		現金補償(個人拂)		計	歩 合 %
	件 數	金 額	件 數	金 額		
昭 和 二 年	一	四・〇九	四	三六・二〇	三六・二〇	三
昭 和 三 年	六	一四八・〇九	二	一九・二五	一、四七・三四	四
昭 和 四 年	三	一一・二六	二	一五・三〇	二六・五六	二
昭 和 五 年	一	—	一	三・七	三・七	一
未 濟 計	三	一、四九・三五	九	六・三	一、四九・八	一〇

昭和六年九月三十日印刷

昭和六年十月一日發行

東京市役所

東京市芝區芝浦町三丁目二番地

印刷人 川口芳太郎

東京市芝區芝浦町三丁目二番地

印刷所 川口印刷所

71-3P-39

51

御麻六平十日一日發
御麻六平式日三十日明

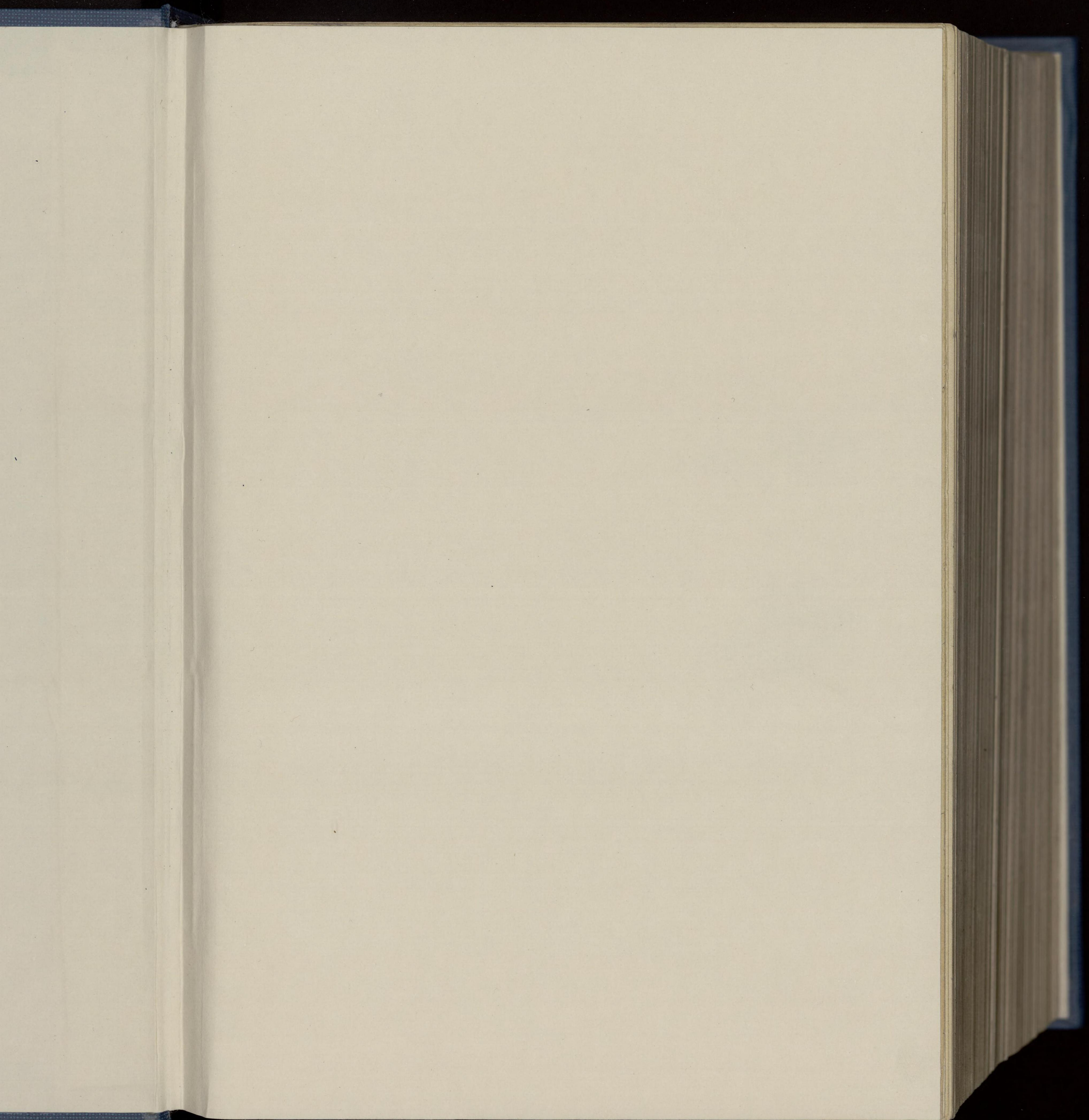
東京市野洲

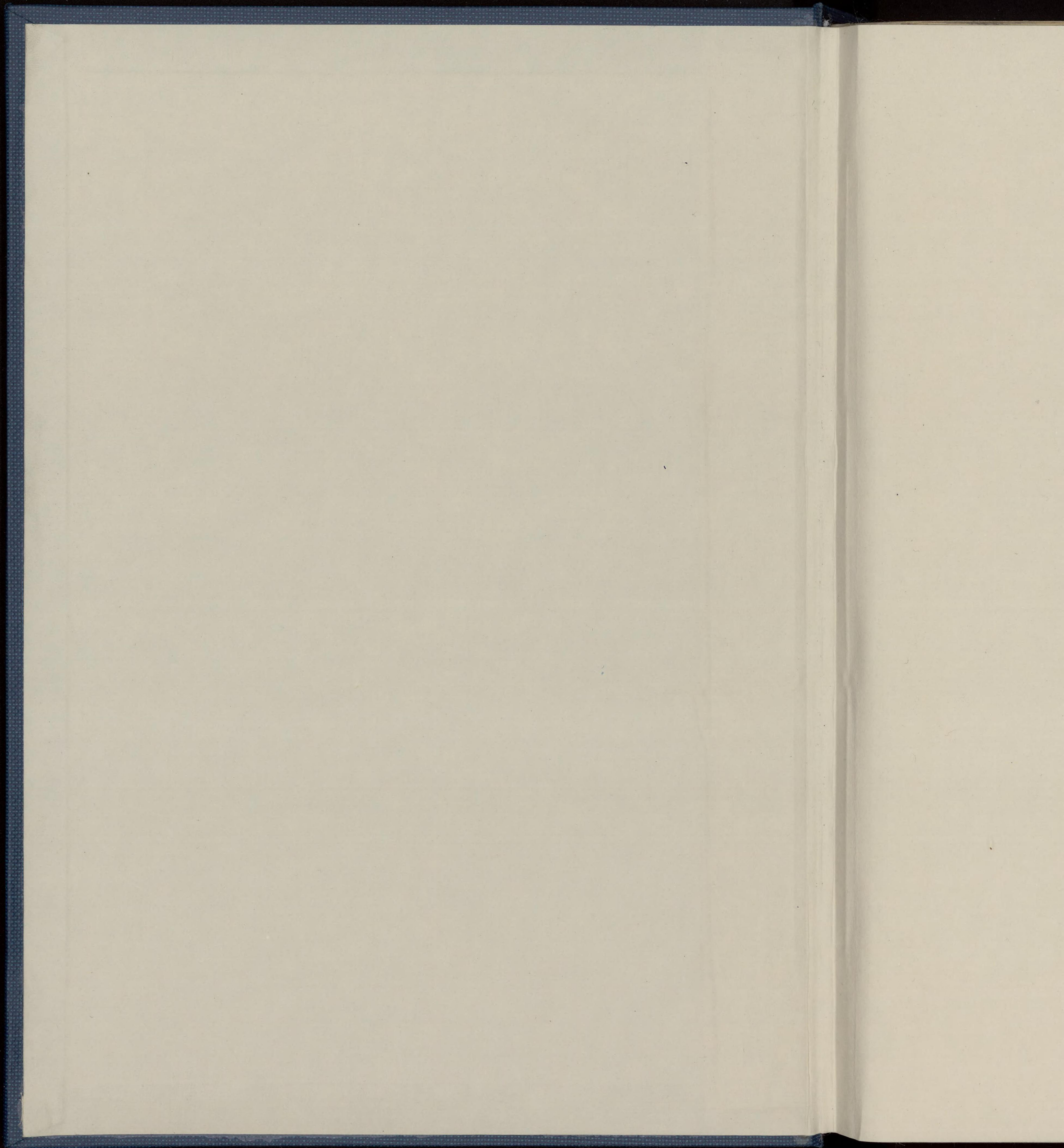
御麻六平式日三十日明

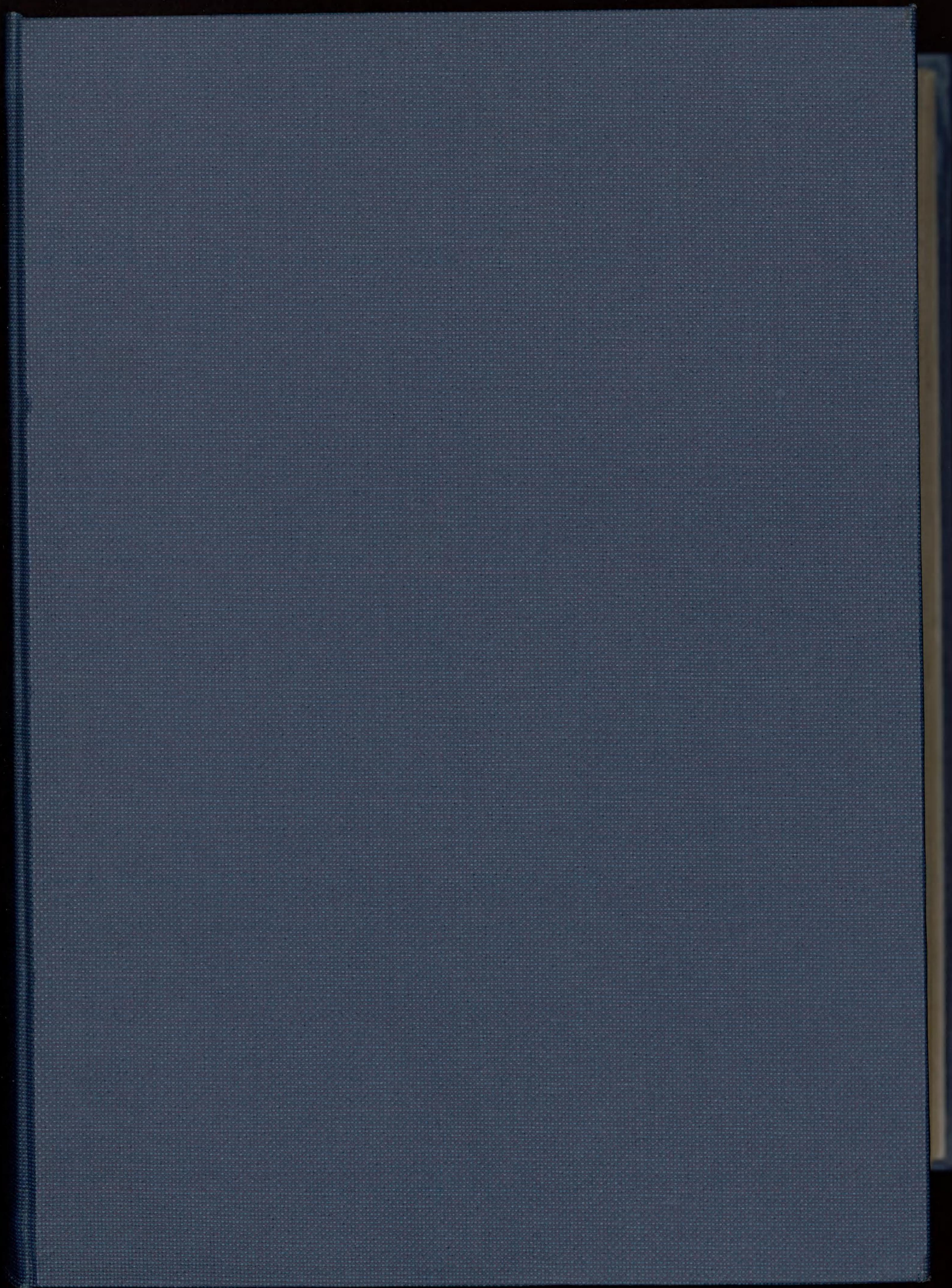
東京市野洲式日三十日明

御麻六平式日三十日明

湘麻六平十八日
湘麻六平十八日
湘麻六平十八日
湘麻六平十八日
湘麻六平十八日







Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 **M** 8 9 10 11 12 13 14 15 **B** 17 18 19



Inches 1 2 3 4 5 6 7 8
cm 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

